

第 30 回歴史地震研究会（秋田大会）のお知らせ（第 2 報）

歴史地震研究会では、9 月 14 日(土)から 16 日(月)の 3 日間にわたって、秋田市にある秋田大学手形キャンパスで、第 30 回歴史地震研究会大会を開催いたします。研究発表会のほか 15 日午後には秋田大学地域創成センターとの共催で、公開シンポジウム『歴史地震から秋田県の防災を考える：東日本大震災を踏まえて』を開催します。また 16 日は 1704 年岩館の地震による崩壊によってできたとされる十二湖などを巡る現地見学会を行います。
会場：秋田大学教育文化学部 3 号館（手形キャンパス）255 室（講演会），150 室（ポスターセッション），145 室（公開講演会），JR 秋田駅西口から徒歩 15 分，タクシーで 5 分

プログラム

9 月 14 日(土) 研究発表会・ポスターセッション・総会

受付開始：8:30～

参加費：歴史地震研究会会員 1,000 円，非会員 2,000 円，学生無料
（研究発表会・シンポジウム参加費・予稿集代）

【研究発表会】会場：秋田大学教育文化学部 3 号館 255 室

I 台湾の地震（9:00 - 9:30）

1. 植村善博

1935 年台湾新竹—台中地震における被害と地形環境

2. 塩川太郎・植村善博

1935 年台湾新竹—台中地震，台中州の地震記念碑について

II 九州，近畿の地震，津波，噴火（9:40 - 10:55）

3. 島津奈緒未・壇一男・鳥田晴彦・一徳元・本村一成

1914 年桜島の地震の震源規模の推定

4. 松岡祐也

1596 年豊後地震における被害の再検証—豊後府内を除く地域について—

5. 松崎伸一・平井義人

寛永海部大分大野三郡図に記された上関村

6. 大邑潤三

文政京都地震(1830)による亀岡盆地の被害分析

7. 高野宏康

福井震災後における丸岡城の再建と「町民意識」

III-i 南海トラフの地震（前半）（11:05 - 11:50）

8. 中西一郎

『谷陵記』に書かれなかった高知県東洋町「野根」の宝永地震被害

9. 松尾裕治・中野晋・村上仁士

高知県沿岸集落における「亡所」に着目した宝永地震津波の現地調査

10. 三神厚

南海地震による高知市の河川堤防被害

昼休憩（11:50 - 13:10）

【ポスターセッション】会場：秋田大学教育文化学部 3 号館 150 室

IV ポスター（13:10 - 14:10）

11. 山品匡史・久保篤規・大石佑輔

高知大学地震観測所所蔵の昭和南海地震の被害写真について

12. 兵藤守・安藤和人・馬場俊孝・堀高峰

歴史資料の波高データにもとづく南海トラフ地震発生シナリオの制約

13. 畠山幸司・高原卓司

長野県北西部の巨大地すべり群と中世に発生した大地震

14. 石辺岳男・村岸純・佐竹健治

1885 年以降に関東及びその周辺で発生した中～大地震の類型化（その 1） — 既往研究
とデータの収集・整理 —

15. 松浦律子・中村操・小田桐睦弥

安政江戸地震に関する印東家文書：江戸城回りの被害情報

16. 行谷佑一・佐竹健治

869 年貞観地震の規模の再検討：津波堆積物と浸水深を考慮したシミュレーションに基づく

17. 今給黎哲郎・林保・小門研亮・住谷勝樹

明治から昭和初期の測量記録（原簿）の電子化

【研究発表会】場所：秋田大学教育文化学部 3 号館 255 室

III-ii 南海トラフの地震（後半）（14:10 - 16:00）

18. 鳴橋竜太郎

五ヶ所湾湾奥部における安政東海地震津波の浸水高分布

19. 磯田道史

静岡市付近の宝永津波史料—波高推定の可能性をさぐる—

20. 都司嘉宣

元禄地震津波(1703)の大名領被害記録を完全に読み解けばどうなる？

21. 今村隆正・北原糸子・千葉達朗

元禄地震で発生した土砂災害(神奈川・山梨県域)

休憩 (15:10 - 15:15)

22. 石橋克彦

684年と887年の間に未知の南海トラフ巨大地震があるか？

23. 松浦律子

1605年慶長地震は南海トラフの地震か？

24. 浪川幹夫

鎌倉における明応・慶長年間の〈津波〉について

V 中部地方の地震 (16:05—16:50)

25. 武村雅之・都築充雄

熱海・伊東の関東大震災を歩く

26. 藤原治・石辺岳男・千葉崇・佐竹健治・金子浩之・市川清士

伊豆半島東岸伊東市における津波堆積物の掘削調査

27. 河内一男

1918年信州大町地震の断層運動とそのテクトニックな意味

VI 関東の地震 (16:55—17:40)

28. 中西一郎

1923年関東地震直後の京都帝国大学の活動：(4) P波初動分布と震源 (続)

29. 武村雅之

神奈川県中部の関東大震災を歩く

30. 村岸純・佐竹健治

1703年元禄関東地震・津波により生じた生活環境の変化

【歴史地震研究会総会】 (17:45—18:45)

9月15日(日) 研究発表会・公開講演会・懇親会

【研究発表会】場所：秋田大学教育文化学部3号館255室

VII 日本海の地震と津波（8:00－9:30）

31. 西村裕一・中村有吾・Nadia Razjigaeva・Larisa Ganzei・Kirill Ganzei・Victor Kaystrenko
ロシア沿海州における歴史時代及び先史時代の津波堆積物調査
32. 二木敬右・石井寿・中村亮一
天保四年(1833年)の庄内沖地震による輪島での津波高さの再検討-DEMを利用した検討-
33. 都司嘉宣・岩瀬浩之・原信彦・岩渕洋子・今村文彦
佐渡の沿岸集落での歴史津波の浸水高さ
34. 相原淳一・駒木野智寛・大畑雅彦
山形県飛島の津波堆積層と遺跡との関係ー特に考古学的な視点から
35. 羽鳥徳太郎
日本海沿岸における2011年東日本地震津波の様相
36. 平川一臣
日本海東縁の津波堆積物：巨大津波履歴と課題

VIII 東北の地震，津波，噴火（9:40－10:55）

37. 水田敏彦・鏡味洋史
1894年庄内地震の調査日誌・紀行文から読取る被害状況
38. 林信太郎
1801年（享和元年）に発生した鳥海山の火山泥流
39. 栗山知士
西暦857年（天安元年）比内地震に伴う崩壊地形（予察）
40. 小田桐（白石）睦弥
メディアから見る三陸津波～青森県を中心に～
41. 蝦名裕一
ビスカイノ報告における慶長奥州地震津波の記述について

IX 土砂災害及び地震全般（11:05－12:05）

42. 井上公夫・相原延光
関東大震災による白糸川の大規模土砂移動
43. 相原延光・井上公夫

関東大震災前後の天気予報についてー予報係藤原咲平のプロ魂ー

44. 樋口茂生・東 将士・稲田 晃・伊藤彰秀・岩本広志・上加世田 聡・川崎健一・楠 恵子・
佐藤伸司・品田正一・末永和幸・渡辺拓美

続 現代生成層ーその災害との関わりー

45. 西山昭仁

歴史地震における被害評価方法の試案

昼休憩 (12:05 - 13:00)

【公開講演会】

『歴史地震から秋田県の防災を考える：東日本大震災を踏まえて』

開 場：13：00

日 時：2013年9月15日（日） 13：30～16：10

会 場：秋田大学教育文化学部3号館145室（60周年記念ホール）

13:30 - 13:35 ご挨拶

13:35 - 14:05 宍倉 正展「古地震研究と東日本大震災」

14:05 - 14:35 小松原 琢「秋田県周辺の活断層と歴史地震」

14:45 - 15:15 水田 敏彦「秋田県で発生した明治以降の歴史地震とその教訓」

15:15 - 15:45 伊藤 和明「日本海中部地震を振り返って」

15:45 - 16:05 質疑応答

閉会の言葉 武村 雅之（歴史地震研究会会長）

【懇親会】

時 間：18:00～20：00

会 場：秋田ビューホテル（秋田駅近く）

会 費：5,000円（学生3,000円）

9月16日(月) 巡検

「二ツ井地震、岩館地震、日本海中部地震の跡を訪ねて」案内者 林, 小田桐

08:30 秋田駅前（東口）出発

09:50 二ツ井着

二ツ井地震(1955)で落下した響橋の遺構見学

10:20 二ツ井発

11:10 八峰町 チゴキ崎灯台着

慰霊碑の見学

11:40 チゴキ崎灯台発

11:50 八峰町ハタハタ館で昼食

12:50 ハタハタ館発

13:30 十二湖着

岩館地震(1704)による崩壊地の観察, 青池, ブナの森の見学

15:30 十二湖発

16:50 秋田空港着

17:20 秋田駅着 解散

参加費:1 人 5,000 円(昼食込み ; 予定)